

はつらつ
ところっこ

世界で一人の“キュート”なミュージカル落語家



ミュージカル落語家
さんゆうていきゅうと
三遊亭 究斗さん (日吉町在住)

唯一の所沢市在住の落語家。香川県出身。ミュージカル俳優から落語家に転身し、春風亭小朝・三遊亭円丈に師事。世界初のミュージカル落語を発案し、30を超える作品を創作。長い作品だと2時間歌う。全国を飛び回り、年間100本以上の公演をこなす。

所沢の公演情報

▶ 並木まちづくりセンター
11月25日(土)午後2時～
費1,000円
申間同センター
☎2998-5911に直接
◎西武所沢店(11月14日(火))、
たつみそば(11月20日(月))なども開催予定。
詳細は三遊亭究斗☎をご覧ください。



「イチゴ大福のようなものです。最初は驚く組み合わせだけど、食べてみればおいしい」。ピアノなどの伴奏に合わせて歌い上げる「ミュージカル落語」を絶妙に例えるのは、三遊亭究斗さんだ。

波瀾万丈の人生と言っているだろう。漫画の主人公に憧れ、10代でボクサーのプロライセンスを取得するも挫折を味わう。悩める究斗青年は「大きな芸能団体に入れば成功する。劇団四季が良い」という占いを信じ、受験。1年がかりで入団し、ミュージカル俳優として全国を回った。約10年が過ぎ、「もっとしゃべりたい」「もっとおもしろいことをしたい」と可能性を求めて落語・歌舞伎・狂言などを調査。「笑い」の要素と、占いの「今すぐ落語家になれ」という後押しが決め手となり、当時としては異例の遅さ(34歳)で落語界に入門。40歳でミュージカル落語を創始し、51歳で真打ちとなった。

占いに大きく影響されていることを、「良いことは素直に信じちゃう性格だから」とおどけるが、決して他人に流されているわけではない。激動の人生は、常に自分と対話し、本当にやりたいことを追求してきた結果だ。「本当にやりたいことは、何かを捨ててもやるものです。捨てられないなら、それは本当にやりたいことじゃない」。

「不思議なもので、全てが一つの道に

つながっているんですよ」と笑う。専門学校で覚えたシナリオ作成のノウハウ、劇団四季で培った役作りと歌唱力、落語界の2人の師匠から学んだ古典と革新…導かれるように究斗さんはミュージカル落語に行き着いた。歌と笑いがバランス良く練り込まれた、究斗さんにしかできない落語だ。

ミュージカル落語は進化を続け、教育と娯楽が融合した“エデュテイメント”作品「一口弁当」が生まれた。いじめ撲滅がテーマで、学校からの公演依頼がひっきりなしだ。小学5年生のときにいじめに遭った経験が作品の背景にあるが、それを笑いに変えるのが究斗流。「言葉だけでは心を動かさない。笑いの中で大切なことを学んで欲しいんです」。公演は体力的にもハードだが、子どもたちから届く「勇気がわいた」「元気をもらった」という声がエネルギーになる。

「世界にいじめ撲滅のメッセージを伝えたい。だから国連でミュージカル落語をするのが夢なんです。一度きりの人生、やらなきゃ損ですから」。「笑い」を武器に、究斗さんのチャレンジは続く。

(取材：鹿島)



オーケストラをバックに歌い上げる究斗さん

今月のプレゼントクイズ!

うさぎに囲まれて、カジュアルに「薬膳」が楽しめる♪
旬野菜の薬膳カレーランチセット(ペア券)
(3,000円相当×10組)

四季の移ろいを楽しめるウッドデッキのあるカフェ「豆うさぎ」。店内には、うさぎの置物や手作りの小物があふれています。手作り雑貨の販売スペースや、大人気のミニコンサートなど、飲食以外も楽しめます♪

今回のプレゼントは、18種類の香辛料と5種類の漢方をブレンドした薬膳カレーのランチセット。トマトやリンゴなどを入れて食べやすく仕上げられてあり、カジュアルに薬膳を味わえます。焼きたてワッフル付きで大満足のランチです。



● Café豆うさぎ
☎2925-5932
緑町3-14-11
(年中無休)



まめ太に会いに来てね♡



◆今月のクイズ

8・10・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると?

◆応募方法(11月10日(金)締め切り)

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦11月号の感想を記入し、〒359-8501広報課に郵送・市(Ｑプレゼント)で応募市◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。

◆プレゼント提供事業者も募集中!

詳細は、市(Ｑプレゼント募集)をご覧ください。

読者感想文

- ワセダクラブ2000に興味を持ちました。一人住まいで、何かしたいなと思うことはあっても、一人で飛び込む勇気がありませんでした。このクラブを考えてみようと思います(泉町・60代男性)
 - 8月で仕事を辞め、早1カ月。何かしたいと思っていたところに動きかけをいただきました。夫を誘って、一緒にできることから始めたいと思います(西狭山ヶ丘・60代女性)
- 編集から●ワセダクラブの皆さんの生き生きとした姿に、「自分も参加したい!」と勇気づけられる方が続出。一人でも、ご家族でも、ぜひチャレンジしてみてください。まずは体験からでも!

- 写真やイラストが多いので、紙面が明るく読みやすいです(北秋津・70代女性)
 - もっとたくさん写真が載っていると4歳の娘も喜びと思います(所沢新町・30代男性)
- 編集から●紙面には限りがあるため、写真やイラストと文字のバランスには毎号頭を悩ませています。写真やイラストの多いページに「良かった」というご感想をいただくことが多いので、なるべく写真やイラストを多く掲載していきたいと考えています。

広報アンケート(9面参照)もよろしくね!



編集後記

乾燥する秋冬は、水分を意識的にとる必要があるそうです。賢くおいしくお水を飲みたいですね。8月の水害対策、今月の水道と水関係の特集担当が続いた、泳げない魚座の編集担当者でした(加賀谷)

秋の風物詩・とろざわまつり。最初に行ったときは、地元これほど活気ある祭りがあるのかと驚きました。地元の魅力に出会うきっかけ作りも広報紙の大切な役割。今後も頑張ります!(佐々木)

はつらつところっこ・三遊亭究斗さんにインタビュー。激動の人生を面白おかしく話していただき、まるで一つの落語を聴いているかのような感じでした。結果だけだと順風満帆な人生のように見えますが、相当な苦勞と努力に裏打ちされています。特に落語界入門時(前座見習い時代)は、何度も「辞めよう」と考えるほどきつかったそうです。それも全て乗り越えて「笑い」に変える。心の強さを感じました(鹿島)